

土浦の将来を担う子供たちからの問いかけ

子ども模擬議会

今年で18回目となる「子ども模擬議会」を、8月23日に市議会本会議場で開催しました。

今年は初めて中学生が参加し、市内の8中学校から18人が参加しました。「新庁舎・新図書館計画」、「霞ヶ浦の水質浄化

と活用」など、市について子供たちが疑問に思っていることに関する質問を投げかけました。

今号では、子供議員の質問と市の答弁の概要を紹介します。



前半議長：室町知紀さん(土浦第一中学校)

新庁舎・新図書館計画について



土浦第一中学校：古谷梨菜さん
新庁舎やその周辺のバリアフリー化への取り組みと、新図書館の今後の計画について教えてください。

新庁舎の整備にあたりましては、障害のある方々に現地を確認いただくなど、話し合いをもちながらできるだけ多くの人に使いやすい施設整備を目指しています。駅周辺についても、皆さんの意見を聞きながら、段差解消や点字ブロックの設置など安心して移動できるようバリアフリー化を進めています。また、図書館は平成29年度にオープン予定で、皆さんの使いやすい、快適な図書館を目指していますので、楽しみに待っててください。【中川市長】

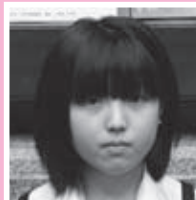
放射能の食品への影響について



土浦第三中学校：杉内政樹さん
放射能による食品への影響が心配です。市では、どのような安全対策をとっているのでしょうか。

毎日私たちが食べている食品は、国が定めた放射性物質の基準値をもとに、国、県、そして市町村が連携して検査を行っており、現在では基準値を超える品目は減少しています。もし基準値を超える食品が見つかった場合には、生産地や品目ごとに出荷制限を行い、口に入らないように流通を止めています。また、市では、学校給食についても調理前の食材の検査を行い調理して提供していますので、安心して食事を摂ってください。【久保谷産業部長】

風疹の予防接種について



土浦第二中学校：椎根萌香さん
風疹予防接種の費用助成の対象が妊娠を希望している女性とその夫となっていますが、対象範囲を拡大できないのでしょうか。

風疹は、妊婦、特に妊娠初期の女性がかかると、「先天性風疹症候群」の赤ちゃんが生まれてくる可能性があることから、緊急対策として、妊婦を風疹から守るため予防接種費用の一部を助成し、「先天性風疹症候群」の発生を予防しています。対象者は、妊娠を予定または希望している女性と、妊婦の夫となっていますが、限られた予算の中で、妊婦を守るという観点から対象者を絞った市の助成事業について、ご理解いただきたいと思います。【鈴木保健福祉部長】

霞ヶ浦の水質浄化と活用について



都和中学校：内田美里さん

霞ヶ浦の水質浄化にもっと力を入れ、水源としてだけでなく、観光やレクリエーションのための環境資源として、どのように活用しようとしているのか教えてください。

県では、平成17年4月に「霞ヶ浦環境科学センター」を開館し、霞ヶ浦などの湖沼環境に関する調査研究を進めています。市においても、霞ヶ浦の現状についての理解を深めてもらうため、小学生による河川の水質調査や親子研修会などを行っています。霞ヶ浦は観光やレクリエーションの資源ですので、霞ヶ浦の雄大な景観や水辺を気軽に楽しめる場所の整備など、誰もが楽しんで、何度でも訪れたいような水辺空間を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。【塚本市長公室長】

市の学力向上対策について



土浦第四中学校：入江拓也さん

学力向上に向けての、土浦市独自の対策について、教えてください。

市では授業を一層充実させるための独自の対策として、教室で電子黒板やコンピュータICT機器を活用したわかりやすい授業を進めていきます。効果としては、「電子黒板を使って資料を見ることで、学習内容が理解しやすくなる」、「実物投影機で参考資料や解答方法を映し出すことで、考えが深まる」、「図やグラフなどを示しながら自分の思考過程を発表することで、思考力や表現力が向上する」など、学力向上に効果的であると考えています。【井坂教育長】

小中一貫教育について



新治中学校：杉田千晶さん

小中一貫教育によるメリット・デメリットをどのようにお考えなのか、同一敷地内で実施することのメリットと、通学距離が遠くなる児童への登下校の方法について教えてください。

小中一貫教育のメリットは、9年間を通しての計画的授業により学力をつけられる、中学進学への不安が軽減できるなどが考えられます。一方、デメリットは小中学校が分かれている場合、移動するのに時間がかかるなどが考えられます。なお、施設一体型では、小中学生が日常的に交流できるメリットがあります。また、小中一貫校の開校により、遠距離通学となる場合はスクールバスの運行を考えています。【井坂教育長】

土浦駅・神立駅周辺の開発について



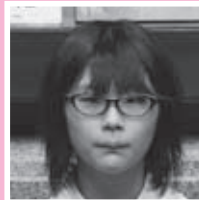
土浦第五中学校：佐藤衣真さん

土浦・神立駅周辺の商店街はシャッター街になってしまい、高齢者にとって買い物をする場所が限られて移動が負担になっています。また神立駅周辺の都市計画はどのようになっていますか。

土浦駅周辺は、平成27年5月の開庁を目標に、駅前のウララビルに市役所を移転することとし、平成29年には北側に新図書館がオープンする予定ですので、まちなかの活気を取り戻すことができるのではないかと考えています。神立駅周辺は、西口の駅前広場拡張や道路整備を一体的に行い、東口も駅前広場や歩行者専用道路の整備を進め、駅舎の橋上化、東西自由通路整備など、6年後の完成に向け、市の北の拠点にふさわしいまちづくりを進めていきます。【五頭副市長】



市の予算について



土浦第六中学校：二宮明莉さん

私たちが勉強に専念できるように使われる予算は、いくらくらいで市の財政の何パーセントを占めているのか、教えてください。

市の予算は、「水・みどり・人がきらめく安心のまち活力のまち土浦」という都市像を目指し、いろいろな角度から検討のうえ市長が編成し、議会で議論し決めていきます。今年度の一般会計予算のうち、教育費は72億円、14%となっていますが、エアコン整備は、今年各小学校の設置に続き、来年中学校でも整備できるよう準備をしています。市は、限られた予算で最大の効果が出るよう工夫・努力をしており、皆さんとの協力が大事であると考えていますのでよろしくお願いいたします。【中川市長】

通学路の安全確保について



土浦第三中学校：田邊悠太さん

土浦三中周辺の通学路は交通量が多くなっています。歩道の拡幅やガードレール設置など通学路の安全確保について、市ではどのようにお考えでしょうか。

平成8年度から、小学校を対象として学校やPTA、警察と一緒に通学路の安全点検を毎年2校ずつ順番に行っています。特に昨年は小学校20校、今年は中学校8校を対象として通学路の緊急合同点検を実施しました。安全点検が必要な箇所については、対策案を作成し、これに基づき信号機やカーブミラー、ガードレールを設置するなど、交通事故を防止するための整備を実施していきます。【木村建設部長】

子ども

模擬議会



後半議長：三谷亮太さん(土浦第二中学校)

つくば市との合併について



土浦第四中学校：飯島真之さん

つくば市との合併は土浦市においても大きな利点があるのではないのでしょうか。土浦市としては、どのようにお考えですか。

市町村合併は、市民の皆さんの要望に応えていくためには大きな効果があると考えていますが、皆さんの生活にも大きな影響を与えます。大事なことは、皆さんが「新しい土浦をどうしたらよいか」を考えてもらい、皆さんの意見を伺いながら取り組んでいくことだと思います。現時点においては、今やらねばならない事を全力で進め、誇りと自信をもてるような「日本一の土浦」を目指してまちづくりを進めていきます。皆さんも、「将来の土浦は私たちが創り、背負っていく」という責任と自覚をもってまちづくりについて話し合い、市の将来について提案をして欲しいと思います。【中川市長】

火災予防・消防用設備について



土浦第一中学校：久保田将矢さん

市における消防設備の設置状況や、取組みについて教えてください。

火災が発生したら早期発見、初期消火することが一番です。そのために使用する設備を消防用設備といいます。消防では、建物が建築される前に消防用設備の設置について審査・指導し、完成後、適切に設置・動作するか検査します。市内の消防用設備の設置状況は、建物の用途や規模に応じて、消防法の基準により100%設置されています。維持管理については、建物の所有者などに対し、いざという時に速やかに対応できるよう指導しています。【羽成消防長】



地球温暖化対策について



土浦第二中学校：斯真田瑞穂さん

地球温暖化の抑制として、ボランティアを募り、公園などの花植えや植林をするのも一つの方法だと思いますが、市ではどのようにお考えでしょうか。

市では、22年3月に地球温暖化防止行動計画を策定し、公共施設への太陽光発電設置や一般世帯への発電補助をはじめさまざまな対策を行っているところです。斯真田さんからご提案がありました、本市での花植えなどの緑化の取り組みについては、公園里親制度や、都市緑化フェア、生垣補助などにより、地域ぐるみや家庭などでの緑化推進による温室効果ガス削減を図っているところです。今後も、市民の皆様と共に地域の緑化推進を図っていきますので、ぜひ参加してください。【東郷都市整備部長】

土浦駅西口周辺の活性化について



都和中学校：坂入美緒さん

現在、土浦駅前の商店街はシャッター街と化しています。駅周辺の活気をどう取り戻すのか、市全体を活気づけるために計画していることを教えてください。

現在、市ではまちなかに賑わいを取り戻すための計画作りを進めています。計画では、約2年後にウラビルに移転する市役所や、平成29年にオープンを目指している駅前の新図書館を起爆剤とし、土浦ならではの魅力を活かした中心市街地のまちづくりに取り組むこととしています。こうした取り組みにより、まちの顔とも言える駅前が元気になり、市全体も活性化していくものと考えています。坂入さんたちが将来、もっと気軽に買い物や遊びに来てもらえるようなまちにしたいと考えています。【小泉副市長】



災害時の情報伝達について



新治中学校：天貝泰己さん

災害時の情報伝達について、市では、どのような体制がとられているのか、教えてください。

予測が難しい自然災害の被害を最小限にするため、市では、国の非常時警報と連動する防災無線の整備や、避難所や消防署、病院などへ相互通信無線システムを設置するなど、さまざまな対策に取り組んでいます。災害時の安否確認手段としては、地域の皆さんで組織されている自主防災会などが、市と協力して安否確認や避難の支援を行うことになっていますが、日頃から家族で話し合い、誰しもが災害に備えることが大切です。【小柳総務部長】

中学校の給食について



土浦第五中学校：遠山彩夏さん

学校給食の容器や盛り付け方、メニューの工夫について、市ではどのようにお考えですか。

市の学校給食は2か所の給食センターで1日当たり約1万2,800人分の給食を調理・提供しています。食器の変更については、食器洗浄機などにも影響するため、新しい給食センターの建設に併せて検討することを考えています。献立については、季節感のあるメニューや全国各地に伝わる郷土料理などを取り入れ、メニューを工夫していますが、貴重なご意見を参考に、今後もおいしい給食を作っていきたいと考えています。【湯原教育部長】



ゴミの処理について



土浦第六中学校：土屋優太さん

市における1年間のゴミの量や、ゴミの分別について詳しく知りたいと思います。また、ポイ捨ての取り締まりについて教えてください。

年間のゴミ量については、平成18年度をピークに減少をしていますが、1人1日当りの平均排出量では、平成23年度は1,175gで、全国平均よりも多くなっていますので、市民1人1人のご協力が必要となっています。次に分別については、空きびん、空き缶などの分別収集のほか、容器包装プラスチックと生ゴミの分別収集にも取り組んでいます。最後に、ゴミのポイ捨てについては、土浦市さわやか環境条例により禁止するとともに、パトロールや年3回の市内一斉清掃を実施しています。【埴市民生活部長】